

## 1 調査・研究事業

### 1 吉田卓司（1934～2009）の生涯

故人の経歴と業績を年表及び写真パネル（10枚）、小冊子にまとめた。

#### (1) 経歴と業績



1934年、東京日本橋に生まれる。大学時代に朝日新聞「部落・三百万人の訴え」を読み、部落問題に関心をもつ。1958年に京都市臨時職員（民生局同和係）となり、「つぼみ会」（部落の青年会）に参加。1965年に四国学院大学へ赴任（「社会保障論」）、1969年から「部落問題論」を担当して大学同和教育で先進的役割を果たす。坂出市などで学生たちと地区実態調査を実施し、社会福祉の観点から就労や住宅などの改善を提言した。差別採用をなくすために香川県同和教育進路促進委員会などで活躍。『全同教香川大会記念誌』（1999年）の編集委員長を務め、県内の同和教育や部落史を初めて体系的にまとめた。県同和対策協議会委員、香川人権研究所理事も務めた。2009年逝去。74歳。

### 2 住民意識の分析

住民意識調査の結果について調査研究し、今後の人権教育・啓発の進め方について提言

した。

- (1)宇多津町 人権問題意識調査
- (2)直島町 人権問題意識調査
- (3)仲多度郡 人権・同和問題に関する意識調査

最近は自由意見を記述する機会が多い。質問と回答が建前になりがちなので、正確な意識を把握するためである。中には行政や教育機関などへの重要な提言や要望がある。

同和問題では「逆差別」「地区を優遇しすぎ」「寝た子を起こすな」「部落責任論（「こわい」など）」が多く書かれている。啓発では「差別はいけない」式の理念や建前だけでなく、むしろこのような誤解をとりあげて踏み込んだ、説得力のある啓発が求められている。

### 3 「かがわ人権人物事典」 資料収集を継続中。

### 4 資料収集（主なもの）

1	『部落解放研究』第188号 部落解放・人権研究所、2010年1月
2	『療養所の将来像を考えよう』ハンセン病市民学会
3	『本願寺史料研究所報 第40号』本願寺史料研究所、2010年5月31日
4	『でこまわし』芝原生活文化研究所、2005年11月24日
5	『生きている三番叟まわし』阿波木偶箱廻しを復活する会、2010年4月24日
6	『東京の部落問題入門』部落解放同盟東京都連合会、2010年3月25日
7	『人権問題研究』第10号 大阪市立大学人権問題研究会、2010年3月31日
8	『魂の島・大島 「らい予防法」廃止後の今』太田昭生、2000年
9	『対馬の朝鮮貿易と被差別民』長崎人権研究所、2010年3月25日
10	『リベラシオン』138号 福岡県人権研究所、2010年6月25日
11	『明日を拓く』82・83号 東日本部落解放研究所、2009年12月25日
12	『2009年度部落史連続講座』京都部落問題研究資料センター、2010年3月31日
13	『広報丸亀』平成22年8月号 丸亀市役所総務部秘書広報課、2010年8月1日
14	『大人教夏季研実践報告集』107号 大阪府人権教育研究協議会、2010年8月23日
15	『京都部落問題研究資料センター通信』21号 京都部落問題研究資料センター、2010年10月25日
16	『広報あやがわ』2010年4月号～2011年3月号 綾川町総務課

17	『リベラシオン』140号 福岡県人権研究所、2010年12月25日
18	『明日を拓く』84号 東日本部落解放研究所、2010年2月25日
19	『明日を拓く』85号 東日本部落解放研究所、2010年3月25日
20	『部落史研究報告書』第14集 八幡浜部落史研究会、2010年5月
21	『リベラシオン』141号 福岡県人権研究所、2011年3月25日
22	『平成21年度業務概要』 香川県子ども女性相談センター、2010年7月
23	『色のガイドライン』 神奈川県地域保健福祉課、2008年10月
24	『よんでんグループCSRレポート2010』 四国電力株式会社、2010年7月
25	『人権歴史マップ』（播磨版、阪神版、丹波版、神戸版） ひょうご部落解放・人権研究所
26	『親鸞』上・下 五木寛之、発行者 講談社
27	『ヒューマンリレーション研修テキスト』 積水ハウス株式会社

## 2 啓発事業

### 1 第一期「かがわ人権なっとく塾」（香川人権大学）

人権・同和問題の担当者育成のため5月6日、13日、20日に開催、30人受講。

#### (1) 概要

①5月6日…開講式、人権啓発展示室見学、講座「法と人権①②」、全体討議

②5月13日…講座「同和問題①②」、全体討議

③5月20日…講座「人権啓発の理論と実践①」、JR高松駅バリアフリー見学、全体討議、レポート作成、修了式

④講師 ▽「法と人権」根本博愛（四国学院大学）・金子匡良（高松短期大学）▽「同和問題」岡本俊晃（部落解放同盟香川県連合会）・松井圭三（中国短期大学）▽「人権啓発の理論と実践」喜岡 淳（香川人権研究所）

#### (2) 受講者の主な意見

▽人権同和問題の体系的な学習の場として今後も継続を希望する▽参加者の相互交流で他所の取り組み、担当者の疑問や悩みなどを相談したい▽終了後は懇親会を実施して

今後も何かあれば相談できるネットワークづくりをしたい、など。

## 2 人権研修ツアー

人権・同和問題への理解を深めるために9月8日～9日に実施、28人が参加した。

### 【研修内容】

- ①堺市舳松（へのまつ）（阪田三吉の故郷。同和問題解決への取り組みを学ぶ）
- ②府立布施北高校（中途退学者を出さない人権教育「デュアルシステム」の試み）
- ③鶴橋コリアン料理・大正区沖縄料理（大阪の食文化と人権）
- ④高槻市の本人通知制度（市民のプライバシー保護と人権行政）
- ⑤積水ハウス企業（社員の人権擁護活動「ヒューマンリレーション活動」を学ぶ）

## 3 第10回かがわ人権ゼミナール

人権週間の一環で11月26日、12月3日に開催。のべ200人が受講した。

11/26 (金)	◆若年認知症への対応 松木香代子（認知症の人と家族の会香川県支部） 最近増加している若年認知症問題、家庭や職場の対応を考える
	◆ユニバーサルデザイン福山市の取り組み 平田 康（福山市人権啓発課） 書類の文字は大きく、書き込み欄は広くなど、人権尊重の市役所改革
	◆枯葉剤の被害児支援活動 大西繁治（全労済香川県本部理事長） 日本語学校や職業訓練、奨学金など、ベトナム児童への支援活動
12/3 (金)	◆インターネットと子どもの人権 松本好史（香川県PTA連絡協議会） 人権侵害の加害者にも被害者にもなるインターネットへの対応
	◆ヒット曲で考える人権問題 喜岡 淳（香川人権研究所事務局長） 「ヨイトマケの唄」（美輪明宏）等を聞きながら人権ディスクジョッキー
	◆今日の部落差別事件 岡本俊晃（部落解放同盟香川県連合会書記長） 大阪で発覚した土地差別事件、県内の場合はどうか、今後の対応を考える

## 4 研修会・講演会等

主な講演テーマ▽学校教職員・保護者・・・人権・同和教育の成果と今後の課題、部落史の見直しと現在の同和教育▽幼稚園・保育所関係・・・子育てと子どもの人権▽行政職

員…自治法と人権行政▽企業…人を大切にする業務スタイル、など。

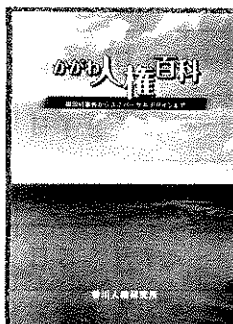
	講演会・研修会名	テーマ	日 時
1	積水ハウス幹部研修会	幹部社員に求められるもの	4月12日
2	香同教社会教育部会研修会	社会啓発活動の改革	4月23日
3	さぬき市人権同和教育研究協議会研修会	市民意識調査の結果	5月18日
4	徳島県人権教育研究会研修会	同和教育の成果と課題	5月26日
5	ハローワーク企業研修会	公正採用の進め方	6月15日
6	岡山県和気町職員研修会	効果的な啓発について	6月17日
7	県立多度津高校二年生講演会	歌で学ぶ人権	6月25日
8	まんのう町商工会研修会	暮らしの中の人権問題	6月29日
9	丸亀市立城辰小学校6年生	迷信とけがれ意識	7月14日
10	多度津町職員研修会	自治体職員と人権問題	7月21日
11	観音寺市立大野原中学校保護者講演会	昔の同和教育、今の同和教育	7月23日
12	三豊市立和光中学校教職員保護者研修会	昔の同和教育、今の同和教育	7月26日
13	高松市民生委員研修会	高齢者の人権	7月28日
14	東かがわ市職員研修会	人権尊重の業務	8月 9日
15	宇多津町講演会	人権啓発とは	8月20日
16	県立高松北高校生徒研修会	ユニバーサルデザイン	8月26日
17	阪大微研観音寺社員研修会	企業と同和問題	9月 3日
18	阪大微研観音寺社員研修会	企業と同和問題	9月10日
19	丸亀市市民研修会	意識調査の結果	9月14日
20	丸亀市市民研修会	意識調査の結果	9月15日
21	丸亀市市民研修会	意識調査の結果	9月16日
22	阪大微研観音寺社員研修会	企業と同和問題	9月17日
23	高松市立国分寺北部幼稚園保護者研修会	身近な人権問題	9月25日
24	広島県三原市企業講演会	企業としあわせ作り	9月28日
25	阪大微研大阪社員研修会	企業と人権問題	9月30日
26	岡山県和気町住民講演会	しあわせ作り	10月 3日

27	高松市企業指導者研修会	人権としあわせ作り	10月 6日
28	三豊市職員研修会	自治体職員と人権問題	10月 8日
29	三豊市職員研修会	自治体職員と人権問題	10月14日
30	三豊市職員研修会	自治体職員と人権問題	10月15日
31	三豊市職員研修会	自治体職員と人権問題	10月19日
32	J A香川大川地区職員研修会	J Aと人権問題	10月25日
33	徳島県人権教育研究大会講演会	子どもの人権教育	10月27日
34	J A香川大川地区職員研修会	J Aと人権問題	11月 1日
35	積水ハウス社員研修会	仕事のバリアフリー	11月15日
36	三豊市立三豊中学校教職員研修会	同和教育の成果と課題	11月17日
37	高松檀紙コミュニティー研修会	高齢者は社会のベテラン	11月27日
38	解放共闘四国ブロック研修会	香川の同和問題	11月27日
39	三豊市立本山小学校保護者研修会	昔の同和教育、今の同和教育	11月28日
40	直島町職員研修会	自治体職員と人権問題	12月 1日
41	高松市立弦打幼稚園保護者研修会	子育てと子どもの人権	1月17日
42	観音寺市立紀伊小学校保護者研修会	昔の同和教育、今の同和教育	1月19日
43	J A関連幹部職員研修会	協同組合と人権問題	1月20日
44	丸亀市立金倉保育所保護者研修会	子育てと子どもの人権	1月21日
45	丸亀市立城辰保育所保護者研修会	子育てと子どもの人権	1月26日
46	坂出綾歌企業人権同和研修会	企業と人権問題	1月26日
47	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	2月14日
48	善通寺市職員研修会	人権尊重の業務スタイル	2月15日
49	善通寺市幹部職員研修会	自治体と同和問題	2月15日
50	善通寺市職員研修会	人権尊重の業務スタイル	2月16日
51	善通寺市幹部職員研修会	自治体と同和問題	2月16日
52	善通寺市職員研修会	人権尊重の業務スタイル	2月17日
53	善通寺市幹部職員研修会	自治体と同和問題	2月17日
54	徳島市加茂名地区教職員研修会	同和教育の成果と課題	2月18日

55	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	2月21日
56	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	2月23日
57	丸亀市立本島中学校講演会	人権はしあわせづくり	2月24日
58	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	2月25日
59	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	3月1日
60	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	3月3日
61	ハローワーク土庄推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	3月4日
62	小豆島町指導者育成講座	人権問題と同和問題	3月4日
63	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	3月8日
64	ハローワーク主催推進員研修会	採用のユニバーサルデザイン	3月10日
65	三豊市財田町講演会	暮らしの中の人権問題	3月19日
66	三豊市山本町講演会	暮らしの中の人権問題	3月19日

(注)「推進員」とは「公正採用選考人権啓発推進員」のこと

## 5 出版「かがわ人権百科」



同和問題からユニバーサルデザインまで、香川の人権問題を豊富な写真と大きな活字で見やすく編集した。

【内容】▽部落の暮らしと文化▽同和問題の解決にむけて～明治から現在まで～▽ハンセン病問題▽しあわせづくり～暮らしの中の人権問題～▽ユニバーサルデザイン▽行ってみよう～香川県人権啓発展示室～▽香川人権研究所の紹介▽香川部落解放・人権啓発センター

## 6 広報紙の啓発記事

自治体広報紙に人権啓発の記事やコラムを提供した。

1	丸亀市	随時	人権コラム (①子どもの人権、②在日外国人の人権、③高齢者の人権) 特集記事 (①同和問題座談会、②人権問題)
2	宇多津町	毎月	シリーズ連載 えせ同和問題、ハンセン病問題、補助犬、保井コノ物語
3	まんのう町	毎月	連載 暮らしの中の人権問題 (12回)
4	三豊市	随時	特集 (①同和問題、②人権週間)、コラム 部落史の見直しなど

5 綾川町	毎月	シリーズ 人権・同和教育だより (12回)
-------	----	-----------------------

## 7 機関紙「オリーブ人権通信」

第21号 2010年9月発行 特集 追悼・吉田卓司先生

第22号 2011年3月発行 特集 第5回人権研修ツアー（大阪）報告

## 3 香川県人権啓発展示室関係 (香川県委託業務)

### 1 啓発展示室での研修会など

啓発展示室の利用者は2,122人(前年度2,344人)。主な利用団体はハローワーク、学校、県など行政機関、婦人会など。姫路市や徳島県など県外からも利用がある。見学者への解説のほか研修講座なども実施した。

#### 【啓発展示室利用 (団体のみ)】

	団 体	日 時
1	三重県立名張西高等学校生徒	4月 5日
2	香川県 (政策部長など)	4月21日
3	大阪府大東市同和会	5月17日
4	綾川町婦人会	7月 5日
5	坂出一高教職員	7月 5日
6	JR四国 (四国旅客鉄道株式会社) 社員	7月13日
7	香川県立東部養護学校教職員	7月22日
8	高松市立香東中学校教職員	7月26日
9	高松市立一宮小学校教職員	7月27日
10	高松市立香川第一中学校教職員	7月27日
11	高松市立鶴尾小学校教職員	7月30日
12	高松市立桜町中学校教職員	8月 2日
13	高松市立大野小学校教職員	8月 4日

14	高松市立下笠居小学校教職員	8月 4日
15	観音寺市立粟井小学校教職員	8月 5日
16	東かがわ市企業関係者	8月 6日
17	香川県健康福祉部職員	8月 6日
18	東かがわ市自治会関係者	8月 7日
19	香川県職員	8月20日
20	香川県立多度津高校2年生	8月24日
21	高松市立一宮中学校教職員	8月24日
22	香川県農政課職員	8月25日
23	観音寺市立観音寺中学校教職員	8月25日
24	丸亀市立小手島小学校教職員	8月26日
25	三木町立白山小学校教職員	8月27日
26	丸亀市立城南小学校教職員	8月27日
27	高松市つくし幼稚園教職員	9月 1日
28	姫路市城東総合センター職員	9月 4日
29	真宗大谷派四国教務所関係者	9月 7日
30	姫路市教育委員会	9月12日
31	香川県健康福祉部職員	9月16日
32	丸亀市立城辰小学校4年生	9月17日
33	鳥取県西部隣保館連絡協議会関係者	9月22日
34	三木町立三木中学校3年生	9月29日
35	さぬき市職員	10月14日
36	徳島県美馬市教育委員会関係者	10月15日
37	東京都大田区教育委員会関係者	10月20日
38	三豊市立比地大小学校5、6年生	10月20日
39	さぬき市立津田中学校1年生	10月28日
40	さぬき市職員	11月11日
41	丸亀市立郡家小学校5年生	11月18日

42	高松市立太田小学校6年生	11月24日
43	埼玉県人権政策推進県民会議	11月26日
44	さぬき市職員	12月22日
45	福井県三松センター職員	1月23日
46	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月 3日
47	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月10日
48	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月15日
49	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月17日
50	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月22日
51	中・西讃ハローワーク管内推進員	2月24日

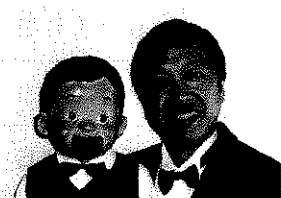
## 2 企画展

各人権課題別のパネル展（毎月）のほか、八月に特別企画展を実施した。

特別企画展 「吉田卓司の生涯」（8月1日～31）

内容はパネル（写真や解説）・調査報告書・遺品などの展示、啓発資料の配布

## 3 夏休み親子人権教室



8月28日、150人が参加して「お笑い人権高座」が開かれ、千田やすしさんが腹話術で「虐待反対、子どもの人権を」を訴えた。他に人権トーク、啓発資料配布も行なった。

## 4 小学生の点字教室

小学生の点字教室（6月21日）に丸亀市立城辰小学校5年生50人が参加、テレビや新聞で報道された。自分の点字名刺を作り、点字利用者からお話を聞いた。講師は安川和子先生、西川省一先生（いずれも県立盲学校教員）。点字は小学校四年で習う。

## 5 展示室特別講座

研究所所蔵の写真や地図、当時の史料などでくわしく学んだ。参加者は15名。

①「高松裁判事件」 7月17日（土）午前10時～12時

②「福田村事件」 8月22日（日）午前10時～12時

#### 6 人権啓発展示室だより「ニュースレター」（8号）

県内の学校関係へ配布し、展示室の紹介と利用促進につとめた。

#### 7 展示パネルの貸し出し

「補助犬」（13枚組み）……琴平高校、三豊市

「日本初の女性博士 保井コノ」（18枚組み）……観音寺市、香川大学

「かがわ人権紀行」（13枚組み）……三豊市

## 4 行政や企業との協力

### 1 香川労働局との協力

香川労働局では、公正採用推進のために「推進員研修会」を丸亀（啓発センター）と高松（高松テルサ）の二会場で毎年実施し、研究所が講演を担当している。丸亀会場では県人権啓発展示室の見学（解説）も併用している。

採用の面接で差別選考につながるおそれのある質問（本籍や家族情報など12項目）をしてはいけないことが企業啓発で強調されている。正しいことではあるが、規制だけが一面的に強調されると事業所から「押しつけ」と受け止められかねず、理解が深まらず納得が得られにくい。そこで、むしろどんな質問が面接にふさわしいか具体的な事例を挙げて紹介した。そして会社で独自の「質問マニュアル」を作成すること、またトップがしっかり理解すること、この2点を訴えた。

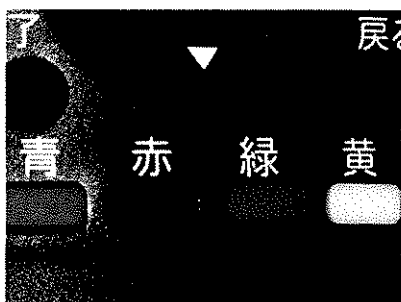
なお、欠格条項の見直しによって推進員手帳には「色覚異常」への配慮が記載されていることから、今回は「色覚問題」をくわしく取り上げた。

## \* 「色覚問題」とは

労働安全衛生規則等の改正にともない、採用での「色盲検査」が廃止されている。かつては就職差別をうけていた。

赤色と緑色の区別がつきにくい人は、日本人男性の場合 20 人に 1 人と比較的多い。黄色や青、黒などは認識できるために「色盲」と呼ばず、「色覚異常」と呼んでいる。しかし日本眼科医学会は赤が識別しにくい人を「一型色覚者」、緑が見えにくい人を「二型色覚者」としている。

以前は欠格条項があって例えば運転免許が取れなかったが、現在はとれる。赤信号と緑信号の色の区別はつかないが、明るさは確認できる。左端のランプ（緑信号）がつけば「進め」、右端（赤信号）は「停まれ」なので問題はない。



小学校入学前の「色盲検査」も廃止されている。学校などでは緑色の黒板や赤のチョークを避ける、大切なことは赤字で書かず下線を引く、太字にするなど文科省は指導している。

最近のテレビのリモコンは赤ボタンには「赤」、緑ボタンには「緑」など文字表記がついている。

## 2 企業などとの協力

### (1) 香川人権啓発企業連絡会議（香川人企連）

香川人企連（四国電力など 18 社）との情報交換会が 2 月 1 日にあり、担当者と交流を深めた。「かがわ人権なっとく塾」（香川人権大学）で来賓として祝辞をいただいたほか、人権ゼミナールや人権研修ツアーなどにも参加している。

### (2) J A 香川

大川地区職員研修会でエコキャップ運動など CSR 活動を取り上げた。地域の幹部研修会では高齢者や障がい者専用駐車場の整備など、高齢化する J A 組合員に対応する業務スタイルについて改善の提言を行った。

CSR とは「企業の社会的責任」の意味。企業も社会の一員として法令順守や環境保護、人権尊重などが求められる。人権擁護を CSR 活動の柱にして▽バリアフリーの推進▽雇用や採用での差別解消▽セクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント対策▽障がい者や高齢者雇用などが取り組まれている。CSR 活動のさかんな企業が社会的に高い評価を受ける時代となっている。

## \* 人を大切にする業務スタイル

人権侵害は無意識のうちに起きていることが多い。点字ブロックは視覚障がい者が安全に歩行するためにあるのだが、無意識に自転車やバイクが置かれている。仕事の中でも同様な事はないか、人権尊重の観点から日常の業務を見直してみると意外な事が分かってくる。

### <人権尊重の取組みチェック表>

施設関係	建物や道路、駐車場、玄関、トイレ、非常出口などのバリアフリー化やユニバーサルデザインの推進
窓口接遇	カウンターの高さは高齢者や車いす利用者にも対応するローカウンター、接遇は正確に伝えるためにゆっくりわかりやすく話す、接客では相手を尊重してパソコンや電話をしながら対応しない
情報関係	差別語や不愉快語、専門用語などを使わない、印刷物や各種表示などは色覚異常者に配慮した「カラーマニュアル」を作る、外国語表記や障がい者などに配慮した点字などを利用した情報発信、プライバシー保護、情報公開など
雇 用	公正採用の推進、障がい者雇用率の遵守、性や年齢・学歴などで差別しない、外国人研修生への配慮など
社会貢献	エコキャップ運動、福祉施設や作業所などの製品展示や販売協力、人権関連ポスターの掲示、人権関連団体の活動を積極的に紹介する、献血や災害復旧支援などの支援、ボランティア休暇制度など
人権尊重の体質	トップによる人権問題への積極的な取り組み、人権相談窓口の充実、人権イベントなどへの積極的参加、社内報に人権啓発記事を掲載する、人権標語の募集、人権研修の実施など
相談体制	セクハラなどの相談窓口の充実、人権感覚豊かな相談担当者の育成、信頼されて利用しやすい相談体制の確立など
従業員の人権	モノが言える職場、育児・介護休暇の実現、健康診断の充実、労働基本権の実質的な保障など

## 5 その他

### 1 西日本夏期講座

第35回部落解放・人権西日本夏期講座が6月3・4日に高松市で開催され、根本理事長が地元実行委員長を務めるとともに大島青松園フィールドワークを担当した。

### 2 香川県人権啓発推進会議

県や市・町、企業、JA、県連合自治会、商工団体、青年・婦人団体、県PTA連絡協議会など36団体による香川県人権啓発推進会議の一員として県民啓発活動に参加した。

①香川県人権啓発推進会議総会（5月12日）

②人権啓発ポスター・スポット等選考会（5月17日）

③「じんけんフェスタ2010」（12月11日・サンポート高松）。研究所は▽「JR高松駅バリアフリー探検」（協力JR四国）▽パネル展「財田川事件と矢野伊吉」▽点字名刺づくり▽古本市▽ビデオ上映▽啓発資料の配布などを行った。古本市にご協力いただいた方、ありがとうございました。

【協力いただいた方】 東かがわ市人権推進室、岡敦憲さん、山下哲司さん、匿名者

### 3 部落解放・人権政策確立要求香川県実行委員会

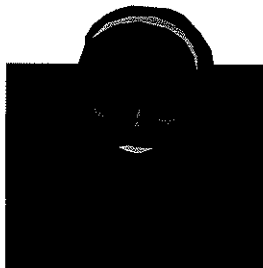
総会が7月15日、香川県社会福祉総合センターで開かれた。参議院選挙でどのような政治状況になろうとも、制定を求める熱意と行動が大切であると運動の強化を再確認した。

### 4 エコキャップ活動

東かがわ市では自治会や企業、商店などへも取り組みが広がっている。皆様のご協力により、今年度研究所に届いたキャップは約11万3085個。人権センター全体の実績は累計で174万個（2011年1月現在）。

【ご協力いただいた主な団体】東かがわ市、さぬき市、四国医療福祉専門学校、多度津高校、津田中央保育所など

## \* 「エコキャップ運動」とは



ペットボトルのフタ（キャップ）を再生プラスチック業者に販売し、その代金でポリオ（小児マヒ）の子どもたちにワクチンを送る運動。リサイクルや温暖化防止にも効果がある。

マヨネーズやソースのキャップなどポリプロピレンで作られたプラスチック製品ならよい。ペットボトルのキャップを集める理由は①身近である②大きさと重さが一定で計量しやすい③運搬が簡単④再利用（リサイクル）しやすい、などによる。「エコテック四国工場」（三豊市山本町）ではキャップをペレット（細かい粒）にして、プランターやうちの骨材として再利用している。同工場はキャップ代金をNPO法人「エコキャップ推進協会」（東京都）へ送金、同協会はNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」（JCV・東京）へ寄付、JCVは国連ユニセフ本部（ニューヨーク）に支援国を指定してワクチンを発注、ユニセフから各国の子どもへワクチンが届く。

JCVの支援実績（2009年度） ミャンマー1億1,700万円、ラオス2,008万円、ブータン1,709万円など（ワクチン以外に使い捨て注射器や保冷用冷蔵庫なども含まれる）。

人権啓発センター → キャップ → エコテック → お金 → エコキャップ推進協会 → お金 → JCV → お金 → ユニセフ → ワクチン → 各国の子どもたちへ

## 5 相談

今年度は3件あった。①子どもの人権にかかわる相談②同和問題についての相談③人権教育に関係する相談。

## 6 理事会など

### 1 総会

2010年5月22日、高松テルサにて開催した。

### 2 理事会

①2010年5月22日 主な議題は総会の進め方について

②2011年2月22日 主な議題は総会日程及び新年度事業計画などについて  
そのほか三役会を随時、事務局会議は毎月、それぞれ開催した。

### 3 会員(2011年3月現在)

個人会員 103

団体会員 83

# 事業会計財産目録

平成22年度 特定非営利活動法人

科 目 ・ 摘 要	金額（単位：円）		
1. 流動資産			
現金	54,477		
普通預金 114銀行丸亀支店	544,105		
普通預金 労働金庫丸亀支店	0		
流動資産合計		598,582	
2. 固定資産			
工具器具備品	350,000		
固定資産合計		350,000	
資産合計			948,582
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金(源泉徴収所得税)	30,240		
未払い金	0		
長期借入金残	540,000		
流動負債合計		570,240	
負債合計			570,240
正味財産			378,342

## 事業会計貸借対照表

2010年4月1日～2011年3月31日

特定非営利活動法人 香川人権研究所

科 目 ・ 適 用	金額（単位：円）		
1. 流動資産			
現金	54,477		
普通預金	544,105		
流動資産合計		598,582	
2. 固定資産			
工具器具備品	350,000		
固定資産合計		350,000	
資産合計			948,582
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金(源泉徴収所得税)	30,240		
未払い金	0		
長期借入金残	540,000		
流動負債合計		570,240	
負債合計			570,240
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産(基本金)	41,825		
当期正味財産増加(減少)額		336,517	
正味財産合計			41,825
負債及び正味財産合計			378,342

平成22年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書  
2010年4月1日～2011年3月31日まで

特定非営利活動法人 香川人権研究所

科 目	金 額 (単位:円)		
<b>I 収入の部</b>			
<b>1. 会費収入</b>			
団体、個人会員	3,703,186	3,703,186	
<b>2. 事業収入</b>			
県・委託事業	5,423,625		
市・町委託事業	892,500		
教育・啓発資料作成事業	1,762,525		
啓発・研修事業	1,687,777		
講師派遣事業	1,277,750	11,044,177	
<b>3. その他収入</b>			
寄付金	438,180		
受取利息等	187	438,367	
<b>当期収入合計</b>			15,185,730
<b>収入合計</b>			15,185,730
<b>II 支出の部</b>			
<b>1. 事業費</b>			
県・委託事業	5,423,625		
市・町委託事業	195,601		
教育・啓発資料作成事業	939,392		
啓発・研修事業	870,055		
講師派遣出張費	219,446		
事務局行動費	117,181	7,765,300	
<b>2. 管理費</b>			
人件費	3,254,710		
福利厚生費	1,249,943		
事務費	1,308,584		
賃借料	1,356,000		
理事会費	52,451		
総会費	121,560		
租税公課	151,100	7,494,348	
<b>当期支出合計</b>			15,259,648
<b>当期収支差額</b>			-73,918
<b>次期繰越収支差額</b>			-84,320

## 2010年度決算報告

2010年4月1日から2011年3月31日まで

科 目	2010年度予算額(円)	2010年度決算額(円)
<b>I 収入の部</b>		
<b>1. 会費収入</b>	<b>3,400,000</b>	<b>3,703,186</b>
団体、個人会員	3,400,000	3,703,186
<b>2. 事業収入</b>	<b>9,823,625</b>	<b>10,151,677</b>
県委託事業	5,423,625	5,423,625
教育・啓発資料作成事業	1,600,000	1,762,525
啓発・研修事業	1,500,000	1,687,777
講師派遣事業	1,300,000	1,277,750
その他事業収入	1,100,000	892,500
<b>3. その他収入・寄付金</b>	<b>40,000</b>	<b>438,367</b>
寄付金		438,180
受取利息等		187
<b>収入合計</b>	<b>14,363,625</b>	<b>15,185,730</b>
<b>II 支出の部</b>		
<b>1. 事業費</b>	<b>7,683,625</b>	<b>7,648,119</b>
県委託事業	5,423,625	5,423,625
教育・啓発資料作成事業	900,000	939,392
啓発・研修事業	900,000	870,055
その他事業収入	400,000	195,601
講師派遣出張費	60,000	219,446
<b>2. 管理費</b>	<b>6,560,000</b>	<b>7,611,529</b>
人件費	3,520,000	3,254,710
福利厚生費	240,000	1,249,943
旅費交通費	80,000	117,181
事務費	800,000	1,308,584
賃借料	1,664,910	1,356,000
理事会費	50,000	52,451
総会費	80,000	121,560
予備費	7,500	0
長期借入返済予定額	120,000	
租税公課		151,100
<b>当期支出合計</b>	<b>14,363,625</b>	<b>15,259,648</b>
<b>当期収支差額</b>		<b>-73,918</b>
<b>III 当期返済額</b>		
<b>1. 当期借入金</b>		<b>300,000</b>
<b>2. 当期借入金残</b>		<b>540,000</b>

# 特定非営利活動法人 香川人権研究所

## 役員名簿

氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期
根本 博愛	善通寺市生野町 1786-6	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
大浦 一臣	丸亀市土器町東1丁目 536 番地	2010年4月1日～ 2011年3月31日	2010年4月1日～ 2011年3月31日
喜岡 淳	高松市屋島東町 515 番地 335	2010年4月1日～ 2011年3月31日	2010年4月1日～ 2011年3月31日
中村 一成	京都市左京区岡崎入江町 24 番地 フォルム聖護院別邸 208 号	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
岡田 健悟	丸亀市本島町泊 69 番地 2	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
小川 俊	高松市国分寺町福家甲 156 番地 4	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
鈴木 義博	高松市木太町 2033 番地 1	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
宝田 公治	観音寺市栗井町 1608 番地 2	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
大西 繁治	高松市香川町大野 416-2	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
金子 匡良	高松市木太町 2078-1 ラルジュ玉藻 403 号	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
浜近 仁史	高松市花ノ宮町1丁目10-14 ロイヤルメゾン栗林503	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし
岡本 俊晃	丸亀市川西町南 682 番地 3	2010年4月1日～ 2011年3月31日	なし

# 社 員 名 簿

特定非営利活動法人香川人権研究所

氏 名	住 所
自治労香川県本部	高松市浜ノ町60-77
大矢根 正 高	仲多度郡琴平町榎井670
近 藤 良 一	仲多度郡多度津町西白方1002-4
河 合 千 津 子	東かがわ市水主1579
福 家 寛	仲多度郡琴平町榎井725-1
宮 川 元 幸	綾歌郡宇多津町浜七番丁94-2 ツインタワー31-1703
本 多 貞 江	丸亀市川西町南715-5
八 代 田 次 郎	高松市藤塚町2-12-15-30
山 崎 公 士	さいたま市中央区大戸4-17-5-303
山 下 隆 章	木田郡三木町大字平木645-15